



会場に展示された写真を紹介する小林さん

精神障害者らの力作並ぶ

写真Tシャツ展二示会

宮崎

精神障害者でつくる写真ワークショップ「えん」(宮崎市、小林順一代表)が、初めての展示会を宮崎市のフローランテ宮崎で18日まで開いている。

写真展といってもパネルではなく、メンバー45人が撮影した写真をTシャツにプリントしたもの。この展示と販売をきっかけに、写真を使った障害者の就労支援を模索したいという。

「えん」は、精神科病院や支援センターに通う20〜50代のメンバーが毎月約2回、デジタルカメラで写真を撮影する会。宮崎市の写真家、小林順一さん(59)が講師を務める。会場には、平和台公園のはにわ、指に止まった赤いテントウム

シ、雨水で鈍くマンホールなど、主に街頭で撮影した明るい作品が並ぶ。小林さんは「写真撮影は、精神障害者が街頭に出る訓練も兼ねている。私も負けれないと思う力作

ばかり。作品を通じて、精神障害者への理解を深めてほしい」と話す。

Tシャツは一枚2000円。サイズはS〜

し、展示終了後に郵送する(送料200円)。会場には、オーガニックコーヒーや日向夏ジュースを販売するカフェも開店。収益は「えん」の活動に使う。問い合わせは宮崎もやいの会0985・71・0036。

【川上珠実】

